全国福祉用具専門相談員協会

「ふくせん新時代」

理事長　岩元 文雄

全国福祉用具専門相談員協会（略称・以下、ふくせん）は、令和新時代の幕が明けた6月に日本福祉用具供給協会（理事長：小野木孝二氏）と共催で第1回福祉用具専門相談員研究大会を開催した。北は北海道、南は沖縄まで全国から一堂に会した福祉用具専門相談員が日頃の成果を発表し、その取り組みの共有を通して、自己研鑽の場となり得る大きな可能性を感じることができた。来年は6月16日に開催する。歩みを止めることなく、大きく育てていきたい。

2040年に向けて社会経済は大きく変化しようとしている。令和の新時代は、人口減少による地域の支え手の人手不足が深刻さを増していく中で、人生100年時代という言葉に象徴される生涯現役世代の増加や健康寿命の延伸、少子化対策など全世代型社会保障へシフトしていく時代でもある。

その中で、介護分野で、人手不足を補うものとして期待されるのが介護ロボットや福祉用具といえる。それらの最適なサービスを提供することこそが福祉用具専門相談員の役割である。この求められる役割をまっとうするために、福祉用具専門相談員のさらなる資質向上は必要不可欠である。ふくせんは自主事業として、福祉用具専門相談員更新研修（ふくせん認定）を全国で開催し、自己研鑽に向けた活動を行っている。

また、厚労省の老人保健健康推進等事業で、「安心できる住環境の確保に向けた他職種連携の在り方に関する調査研究事業」を受託し、ふくせんと歩みを共にすることとなったFJC（福祉住環境コーディネーター検定試験合格者）会員と力を合わせて、これからの時代に目指すべき住環境確保への提言をとりまとめることとしている。新たな仲間を迎え、新時代を歩み始めたふくせんにご期待いただきたい。

シルバー新報　2019年（令和元年）　9月20日　17面